

渡島西部広域事務組合

【松前町・福島町・知内町・木古内町】

海峡

環境にやさしい資源リサイクル!!

汚泥再生処理センター（平成26年3月稼動）



集めたし尿をセンターに搬入！

リサイクルプラザ（平成15年1月稼動）



大量の空き缶処理も大変です。

一般廃棄物最終処分場（平成11年10月稼動）



浸出水処理施設

浸出水の水質を厳しくチェック



埋立処分施設

雪が残る埋立処分場に不燃残渣を搬入

ストックヤード（平成29年1月稼動）



新しい施設でリサイクル品をしっかり保管！

～ 海峡50号の主な内容 ～

議会第1回定例会	P 2
職員数・建設事業	P 3
予算の概要	P 4
衛生センターからのお知らせ	P 6
参与・幹事等の異動	P 7
各消防署の活動状況	P 7
新採用職員の抱負	P 8
北海道新幹線竜飛定点での避難訓練	P 8

渡島西部広域事務組合議会 第1回定例会

平成31年2月22日(金)、第1回定例会が開催され、管理者の行政報告の後、議案5件が可決されました。

行政報告

消防関係について

火災の発生状況について

1月13日、知内町森越地区でプレハブが全焼、また、14日には福島町美山地区で作業場の一部を焼損、2月5日には、松前町上川地区で住宅が全焼する火災が発生しましたが、人的被害はありませんでした。

各消防署には、防災無線による火災予防啓発の徹底と、消防職員による管内巡視の強化を指示しました。



行政報告をする鳴海管理者

3 新規約の内容について

(1) 新規約第2条（組合を組織する地方公共団体）について

新規約における構成団体数は、次のとおり256団体となりました。
なお、一部事務組合及び広域連合の1団体減は、平成30年3月31日に解散した十勝環境複合組合であります。

現規約の構成団体数	新規約の構成団体数
市町村 152団体	市町村 152団体
一部事務組合及び広域連合 105団体	一部事務組合及び広域連合 104団体
複合的一部事務組合 3団体	複合的一部事務組合 0団体
計 260団体	計 256団体

(2) 新規約第14条（事務の受託）について

新規約から外れた3団体の公務災害補償等の事務につきましては、新たに事務の受託条項を設け、従来同様の取扱いを確保することにしました。
なお、当該団体からは、すでに事務の受託申し出があったとのことです。

審議された議案内容

☆専決処分した事件の報告について（報告第1号）

現行の北海道市町村総合事務組合規約では、構成団体に不都合が生じることから、新規約を制定するとともに、現行規約を廃止しました。

なお、改正後の構成団体数は256団体、また、事務受託団体数は3団体となりました。

第1回定例会議案説明資料

☆平成30年度一般会計補正予算（第4号）について（議案第1号）

予算から3,110万5千円を減額し、総額を15億5,319万2千円としました。

補正の主な内容は、工事請負費等の入札減と、年度末に向けた実績精査です。

☆積立金の処分について（議案第2号）

衛生センター施設整備基金から3,409万9千円を取り崩し、リサイクルプラザの「その他プラスチック容器圧縮成型設備改修工事」の財源とするため、積立金を処分することにしました。

☆平成31年度一般会計予算について（議案第3号）

平成31年度の予算総額を、15億5,916万4千円としました。

前年度と比べると、1,178万1千円の減額となりました。

歳出では、78.1%が人件費と物件費、8.2%が建設事業費等、その他公債費等13.7%、また、歳入では、構成町負担金が88.2%、し尿処理手数料等の手数料が11.7%、交付金等が0.1%となりました。



昨年度更新の消防本部指令車

☆監査委員の選任について（同意第 1 号）

本庄屋 誠氏の監査委員選任が同意されました。

同氏は、平成27年4月1日から現在までの4年間、当組合の監査委員を務めており、引き続きお願いすることになりました。



本庄屋監査委員

今年 4 月 1 日の職員数について

今年 4 月 1 日現在の職員数は112人で、前年度と比べ 2 人の減となりました。

区 分	事務局	衛 生 センター	消 防					合 計
			本 部	松 前	福 島	知 内	木古内	
今年度	4	4	3	3 3	2 4	2 2	2 2	1 1 2
前年度	4	4	3	3 4	2 2	2 3	2 4	1 1 4

平成31年度の建設事業等について

今年度の百万円以上の建設事業等は14件で、事業予算は 1 億6,631万 7 千円となりました。
前年度に比べ 2 件、事業予算で7,627万 5 千円の減となりました。

担 当 部 署	事 業 名	備 考
衛生センター	汚泥再生処理設備機械オーバーホール	
	ごみ処理設備機械オーバーホール	
	その他プラスチック容器圧縮成型設備改修工事	容器圧縮成型機取り替え コンベア改造 ほか
松 前 消 防 署	耐震性貯水槽新設工事	江良地区 1 基 (40m ³)
	防火水槽補修工事	茂草地区 1 基
	消防作業車購入事業	6 人乗り 1 台
	消火栓更新工事	大磯地区ほか 6 地区10基
福 島 消 防 署	水難救助用ボート購入事業	6 人乗りゴムボート一艇 (船外機付き)
	耐震性貯水槽新設工事	宮歌地区 1 基 (40m ³)
	小型動力ポンプ購入事業	白符分団配置 1 台
知 内 消 防 署	消火栓更新工事	湯の里地区ほか 1 地区 4 基
木古内消防署	消防庁舎下水道接続工事	町下水道延伸に伴う接続
	高規格救急自動車購入事業	消防署配置 1 台
	人員搬送広報車購入事業	消防署配置10人乗り 1 台
合 計	1 4 件	

耐震性貯水槽 新設工事予定地



松前町江良地区の設置予定地



福島町宮歌地区の設置予定地



鍋谷消防長

平成31年度 歳入予算の状況について

今年度は、各消防署の大型事業等が減少したことにより構成町負担金が5,087万3千円減額となりましたが、衛生センター事業への積立金の取り崩しや、3年に一度の退職手当組合事前納付金精算還付などにより、1,178万1千円の減額となりました。

(単位：千円)

予 算 科 目		予 算 額	主 な 内 容
分担金及び負担金 (構成町負担金)	衛 生 負 担 金	364,737	
	消 防 負 担 金	1,010,080	
	小 計	1,374,817	
使用料及び手数料	し 尿 処 理 手 数 料	99,409	収集量18,400kℓ
	浄化槽汚泥処理手数料	8,640	収集量1,800kℓ
	ご み 処 理 手 数 料	4,160	収集量800 t
	消 防 手 数 料	3,990	知内発電所屋外タンク定期点検審査手数料
	小 計	116,199	
国 庫 支 出 金	緊急消防援助隊補助金	0	
道 支 出 金	消防施設整備費交付金	1,910	木古内消防署人員搬送広報車購入財源
財 産 収 入	利 子 及 び 配 当 金	31	
	物 品 売 払 収 入	4,200	アルミプレス等売払代金
	小 計	4,231	
繰 入 金	衛生センター基金繰入金	34,099	リサイクルプラザ設備改修工事財源
繰 越 金	繰 越 金	1	前年度繰越金
諸 収 入	組 合 預 金 利 子	2	
	雑 入	27,905	退職手当組合事前納付金精算還付金
	小 計	27,907	
組 合 債	消 防 債	0	
合 計		1,559,164	

構成町負担金内訳は、次のとおりです。

(単位：千円)

構成町	衛生負担金	消防負担金	負担金合計	前 年 比
松 前 町	120,974	328,903	449,877	27,358千円の増
福 島 町	119,809	223,815	343,624	41,275千円の減
知 内 町	50,566	215,625	266,191	5,625千円の増
木古内町	73,388	241,737	315,125	42,581千円の減
合 計	364,737	1,010,080	1,374,817	50,873千円の減

平成31年度 歳出予算の状況について

今年度の歳出は、衛生センター設備改修工事や松前消防署大型事業の実施による増額と、前年度に完了した消防関係大型事業の減額により、1,178万1千円の減額となりました。

(単位：千円)

担 当	予 算 科 目	予 算 額	主 な 内 容
事 務 局	議会費	880	定例会3回、臨時会3回
	事務局費	39,410	職員4人、臨職1人
	監査委員費	1,160	
	公債費 元金	94,726	平成21～25年度施設整備債等の元金返済
	〃 利子	5,528	平成21～29年度施設整備債等の利子返済
	前年度会計剰余還付金	1	
	退職手当組合精算還付金	28,758	精算返還となる関係町へ還付
	衛生センター施設整備基金積立金	16,876	浄化槽汚泥処理手数料、地方交付税等積立
	予備費	2,000	
	小 計	189,339	
衛生センター	し尿処理費	250,412	職員3人、臨職1人、し尿収集業務等委託料
	ごみ再生処理費	108,724	職員1人、リサイクルプラザ設備改修工事
	最終処分場処理費	20,285	浸出水処理施設維持管理委託料
	小 計	379,421	
消 防 本 部	消防本部費	39,316	職員3人、消防救急デジタル無線保守委託料
松 前 消 防 署	松前消防署費	256,660	職員34人、活動用備品購入
	松前消防団費	16,416	団員定数135人
	松前施設費	36,653	江良地区耐震性貯水槽新設工事、作業車購入
	小 計	309,729	
福 島 消 防 署	福島消防署費	182,077	職員24人、活動用備品購入
	福島消防団費	11,135	団員定数85人
	福島施設費	14,575	宮歌地区耐震性貯水槽新設工事
	小 計	207,787	
知 内 消 防 署	知内消防署費	187,272	職員23人、活動用備品購入
	知内消防団費	9,926	団員定数80人
	知内施設費	6,494	消火栓更新工事
	小 計	203,692	
木 古 内 消 防 署	木古内消防署費	177,428	職員22人、事務用備品購入
	木古内消防団費	9,334	団員定数80人
	木古内施設費	43,118	高規格救急自動車、人員搬送広報車購入
	小 計	229,880	
合 計		1,559,164	

平成30年度に更新した
消防ポンプ自動車



衛生センターからのお知らせ



きちんとラベルが剥がされたペットボトル

☆ ありがとうございます。

皆様のご協力により、各家庭からの資源ごみが適切に出されるようになってきました。

これからも、よろしくお願いいたします。

なお、各役場で皆様にお届けしている「ごみ分別辞典」について、ご不明な点がある場合は、各役場担当課にお問い合わせください。



汚泥肥料の袋詰め装置を操作する職員

☆ 汚泥肥料の配付状況について

平成30年度の汚泥肥料の配布実績は4,461袋で、約67トンの肥料が有効利用されております。

利用料は無料となっておりますので、ご入用の方は、衛生センターまでお申し込みください。

電話 0139-47-2201

リサイクルプラザの「その他プラスチック容器圧縮成型設備改修工事」について



リサイクルプラザの各設備は、平成14年度建設当時のもので、毎年オーバーホールにより延命化を図っておりますが、老朽化と共に交換部品の製造中止など厳しい状況になっています。

このため、リサイクルプラザや最終処分場等の将来的な設備のトラブルを避けるため、「衛生センター関連施設整備計画」を策定し、衛生センター施設整備基金を活用した計画的な設備改修を進めることにしました。

今年は、「その他プラスチック容器圧縮成型設備」の改修を行います。

改修工事の内容～容器投入コンベア改造、圧縮成型機取替、成型品搬送装置取替、電気設備修繕



改造予定のコンベア



取り替える圧縮成型機



取り替える搬送装置

職員の人事異動

参与・幹事の異動

知内町参与
平成31年2月15日付
・西山 和夫
(知内町長)

知内町幹事
平成31年2月18日付
・大野 樹
(知内副町長)

知内町幹事
平成31年3月31日付
・副町長勇退
知内消防団
・副町長 佐藤 昌彦

消防団員の異動

平成31年4月1日付
・副町長就任
知内消防団
・副町長 松崎 光一

職員の異動 (昇任・昇格含)

平成31年4月1日付

事務局
・小鹿 浩二
事務局長
(福島町より派遣)

・館 政 ななみ
主事
(福島町より派遣)

衛生センター

・佐藤 和利
衛生センター長
(福島町より派遣)

消防本部
・佐藤 拓海
庶務係長兼施設係長

・岩上 健作
主幹

(木古内消防署より異動)

松前消防署

・高山 亨

・管理課管理係主任

・荻田 翔平

・管理課指導係主任

・高堰 智大

・管理課指導係主任

・木村 直人

・管理課指導係主任

・高橋 由宇人

・江良出 張所係主任

・小林 薫平

・管理課管理係

・佐藤 祐太郎

・警防課救急通信係

福島消防署

・住吉 竜大

・管理課主幹

(消防本部より異動)

・大橋 浩

・管理課管理係主任

知内消防署

・木元 昌弘

・管理課長

・成澤 悟

・警防課長

・永田 卓

・管理課管理係主任

・谷藤 健太

・管理課指導係主任

・野戸 教靖

・警防課救急通信係主任

・加賀 建

・管理課指導係

・城地 康哉

・警防課救急通信係

木古内消防署

・秋庭 貴大

・管理課管理係主任

・三上 大地

・警防課警防係主任

新採用職員

平成31年4月1日付

松前消防署

・小野寺 歩輝

・警防課警防係

福島消防署

・松本 穂人

・警防課警防係

職員の派遣

平成31年3月31日付

福島町へ

・中島 和俊

(事務局長)

・鳴海 千草(主事)

知内町へ

・鳴海 英人

(衛生センター長)



各消防署の活動状況

松前消防署



1/26 松前城本丸御門での放水訓練

福島消防署



3/3 福島消防団員による放水訓練

知内消防署



3/12 知内消防団教育訓練

木古内消防署



3/5 スリップ事故の人命救助訓練

新採用職員の抱負

平成31年4月1日付けで採用した職員をご紹介します。
構成町の皆様、よろしくお願いいたします。



●松前消防署
おの でら あゆ き
小野寺 歩 輝
(20歳)
(松前町出身)

町民の皆様の安全を守るよう、日々の訓練や勉強を怠らず、立派な消防職員になれるよう精一杯努力したいと思います。よろしくお願いいたします。



●福島消防署
まつ もと しゅう と
松 本 穂 人
(18歳)
(知内町出身)

町民の皆様が安心・安全に暮らせるように、日々向上心と努力を忘れず訓練に取り組み、信頼される消防士を目指していきます。よろしくお願いいたします。

北海道新幹線龍飛定点での避難訓練に参加しました

3月20日(水)、消防本部及び各消防署員9名が竜飛定点に出向き、青森県側が実施した避難訓練に参加しました。

訓練は、JR北海道やJR東日本、消防、警察関係者103名が、乗務員による避難所への誘導等、異常発生から避難完了までの一連の流れの中から課題等を洗い出し、今後に活かすことを目的に実施されました。



竜飛定点に向かう組合消防署員9名



乗務員の誘導で避難する模擬乗客



トイレ前の避難者用ベンチ

